

CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)アイランドシティオレストプレイスⅢ街区(G-2棟)

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

スコアシート 実施設計段階						
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点		重み係数		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						3.1
Q1 室内環境			0.40	-	-	3.0
1 音環境		3.0	0.15	3.0	1.00	3.0
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音		3.0	0.50	3.0	0.50	
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能		3.0	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音		3.0	-	-	-	
2 温熱環境		2.6	0.35	3.3	1.00	2.8
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.7	0.50	
1 室温		3.0	0.63	3.0	0.63	
2 外皮性能	日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級5相当。	3.0	0.38	5.0	0.38	
3 ゾーン別制御性		3.0	-	-	-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境		2.4	0.25	2.8	1.00	2.5
3.1 屋光利用		3.0	0.30	2.5	0.30	
1 屋光率		-	-	2.0	0.50	
2 方位別開口		-	-	3.0	0.30	
3 屋光利用設備		3.0	1.00	3.0	0.20	
3.2 グレア対策		2.0	0.30	4.0	0.30	
1 屋光制御	カーテンと庇により屋光を制御する。	2.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度		1.0	0.15	1.0	0.15	
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境		3.6	0.25	4.2	1.00	3.8
4.1 発生源対策		4.0	0.60	5.0	0.63	
1 化学汚染物質	JIS規格F☆☆☆☆の建築材料を採用する。	4.0	1.00	5.0	1.00	
4.2 換気		3.0	0.40	3.0	0.38	
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能		-	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理		-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-	
2 喫煙の制御		-	-	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.3
1 機能性		3.8	0.40	3.8	1.00	3.8
1.1 機能性・使いやすさ		5.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性		3.0	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応	光ケーブルに対応した通信設備を採用する。	3.0	-	5.0	1.00	
3 バリアフリー計画	バリアフリー新法の建築物移動等円滑化誘導基準(望ましいレベル)を満たしている。	5.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	2.0	0.40	
1 広さ感・景観		-	-	1.0	0.50	
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-	
3 内装計画		3.0	1.00	3.0	0.50	
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.1	0.30	-	-	3.1
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.4	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	外壁タイルの補修必要間隔: 30年以上とする。	5.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水管・排水管にB以上を採用。	3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性		3.0	0.20	-	-	
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3 電気設備		3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性		3.0	0.30	2.9	1.00	2.9
3.1 空間のゆとり		-	-	2.8	0.50	
1 階高のゆとり	階高2.9m以上を確保する。	-	-	4.0	0.60	

	2	空間の形状・自由さ		1.0	-	1.0	0.40	
	3.2	荷重のゆとり		3.0	-	3.0	0.50	
	3.3	設備の更新性		3.0	1.00	-	-	
	1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	3.0
1	生物環境の保全と創出		緑の量を確保し、生物環境の保全と創出を図る。	3.0	0.30	-	-	3.0
2	まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.6
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	4.5
1	建物外皮の熱負荷抑制		住戸、住棟 ZEH Orientedの目標をクリアしている。	5.0	0.20	-	-	5.0
2	自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化		[BEI][BEIm]: 0.61	5.0	0.50	-	-	5.0
4	効率的運用			3.5	0.20	-	-	3.5
	集合住宅以外の評価			-	-	-	-	
	4.1	モニタリング		-	-	-	-	
	4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
	集合住宅の評価			3.5	1.00	-	-	
	4.1	モニタリング	ガス消費量等の情報表示ができる給湯器リモコンを採用する。	4.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.2
1	水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
	1.1	節水	節水型機器を採用している。	4.0	0.40	-	-	
	1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減			2.9	0.60	-	-	2.9
	2.1	材料使用量の削減		3.0	0.10	-	-	
	2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	フライアッシュセメントを採用している。	5.0	0.20	-	-	
	2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		1.0	0.20	-	-	
	2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	
	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.20	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避			4.0	0.20	-	-	4.0
	3.1	有害物質を含まない材料の使用	床タイル用接着剤に、有害物質を含まないものを採用。	4.0	0.30	-	-	
	3.2	フロン・ハロンの回避		4.0	0.70	-	-	
	1	消火剤		-	-	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)	ODP値0かつ、GWP値1の発泡ウレタンフォーム断熱材を採用する。	5.0	0.50	-	-	
	3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	2.9
1	地球温暖化への配慮		LCCO2排出換算スコア:3.3	3.7	0.33	-	-	3.7
2	地域環境への配慮			2.1	0.33	-	-	2.1
	2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
	2.2	温熱環境悪化の改善		1.0	0.50	-	-	
	2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.5	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
	2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	3	交通負荷抑制	適切な量の駐車スペースを確保している。	5.0	0.25	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
	3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
	1	騒音		3.0	0.33	-	-	
	2	振動		3.0	0.33	-	-	
	3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
	3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
	1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
	3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
	3.3	光害の抑制		3.0	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告物照明を設置しない。	3.0	0.70	-	-	
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	